

親子で遊ぼう 女技の夏休みオンラインサイエンス 2021

植原 邦佳

技術部 技術職員

令和3年8月3日(火)と17日(火)に開催された「親子で遊ぼう 女技の夏休みオンラインサイエンス 2021」に運営スタッフおよび科学工作の講師として植原 技術職員が参加しました。

大阪大学の各部局に所属する女性技術職員は、部局を超えて互いに考え協力できるよう、2019年に大阪大学部局横断型女性技術職員ネットワーク(女技ネット)を設立しました。その取組の一環として、昨年に引き続き、小学生3～4年生を対象としたオンラインサイエンスイベントを実施しました。なお、今年度は全国17教育機関の女性技術職員の協力のもと全国規模での開催とし、145組の親子がイベントに参加しました。

当日は、本学のダイバーシティ&インクルージョン担当 奈良 哲 理事・副学長の開会の挨拶、女技ネット代表の中本 有紀 特任准教授から女技ネットの説明と講師の紹介、プログラムの説明がありました。その後、講師スタッフ2～4名と親子2組を1つのグループとしてそれぞれ工作実習を行いました。子供たちは、あらかじめ送付した黒い厚紙と分光シートを使って講師と一緒に分光筒を作成し、身の回りの光を観察しました。白色(無色)に見える光が7色に分かれる様子に子供たちは「きれい!」、「虹がみえた!」と、とても嬉しそうなお様子でした。

光が分かれる仕組みを勉強した後は、光に関するクイズにチャレンジ!子供たちは一生懸命考えて、元気に答えてくれました。グループ内での自己紹介や各教育機関の個性溢れる学校紹介の際には、遠くにいる講師やお友達と話していることを実感して驚く場面も見られました。

技術職員は、教員・事務職員と共に、大学における世界最先端の研究を支える柱のひとつです。社会に科学の面白さ、素晴らしさ、そして大学の活動を伝える取り組みも重要な役割です。本イベントを通じて、子供たちに科学への興味・関心を持ってもらうことはもちろんのこと、技術職員の幅広い活躍を知ってもらう機会になれば幸いです。また、全国の女性技術職員とのネットワークを強化することにより、技術力を底上げし、研究活動により貢献できる体制を構築したいと思っております。

【参加教育機関】北海道大学、東北大学、富山大学、山梨大学、静岡大学、名古屋大学、名古屋工業大学、大阪大学、神戸大学、鳥取大学、岡山大学、愛媛大学、佐賀大学、琉球大学、奈良先端科学技術大学院大学、函館工業高等専門学校、宇部工業高等専門学校(計62名)



植原 技術職員が説明する様子
(上:8月3日、下:8月17日)



講師・運営スタッフとして参加した全国の女性技術職員技術職員